

No.	業務名	No.	機能1	No.	機能2	No.	機能3	No.	機能概要
1	給排水工事申請・指定店管理システム全般	1	マスタメンテナンス	1	市内住所マスタ更新			1	現在富山市において、市内町名を公称町名(土地の字名)と通称町名(公称町名以外の俗称町名)を組み合わせて管理している。 町名に紐づく公称町名及び通称町名のマスタが存在することに留意すること。 また上記市内町名マスタの登録・修正・削除ができること。
2				2	市外住所マスタ更新			1	全国の住所マスタまたはそれに代わる住所機能を持ち、市外の住所についても管理が可能であること。
3				3	個人・法人情報マスタ			1	現行システムにおいては、1件の個人・法人情報(氏名、住所、電話番号等)に対して1つの個人コードを附番している。受付入力時において個人コードを入力することでコードに紐づいた情報を表示させ、工事申請者や使用者情報等の入力事務負担を軽減している。 上記運用に準じた、もしくは入力事務負担軽減を図ることが可能な管理を行えること。
4								2	コードによる管理を行う場合、事務運用で紐づく給水装置工事管理と排水設備工事管理に共通して使用可能なコードとすること。
5				4	旧市町村区分			1	富山市は平成17年に旧富山市、大沢野町、大山町、八尾町、婦中町、山田村、細入村の市町村合併を行っている。 内部統計資料等作成のため上記の旧市町村区分ごとに統計・集計を行うことも可能であること。
6				5	上下水道局事業管理者名の管理			1	上下水道局事業管理者名及び職務代理者の2名についてデータベース保持し、納付書等への出力に使用できること。
7				6	公印管理			1	発行者の公印(複数種類)及び帳票ごとの公印の種類を管理できること。
8		2	機能全般	1	検索照会	1	検索照会	1	検索項目を組み合わせ、複合検索による絞込み検索ができること。

No.	業務名	No.	機能1	No.	機能2	No.	機能3	No.	機能概要
9								2	一度検索した検索履歴は保持され、同じ条件による再検索や、検索履歴を活用した新たな検索が可能なこと。
10								3	⇒氏名は、登録内容と下記のような相違があっても検索が可能なこと。 ・濁点・半濁点あり ⇔ 濁点・半濁点なし ・ヲ ⇔ オ ・空白あり ⇔ 空白なし ・長音記号 ⇔ ハイフン ・小文字 ⇔ 大文字（例:ヤ→ヤ）
11				2	外字管理	1	外字管理	1	外字の管理ができること。
12				3	入力支援機能	1	入力省力化	1	工事店名については、工事店コードからの入力と、工事店名のカナ検索で入力を省力化できること。
13				4		1	印刷	2	お客様番号(水栓番号)入力において、「000123」を入力する場合、「123」で認識する前ゼロ自動変換を行うこと。
14								1	帳票を印刷する際は、紙・PDFを選択できること。
15								2	印刷前にプレビューを表示する機能を有すること。

No.	業務名	No.	機能1	No.	機能2	No.	機能3	No.	機能概要
16	給水装置工事申請	1	検索機能					1	下記それぞれの項目で工事申請情報の検索が行えること。 工事区分、水栓番号、届出年月日、届出年月日期間、装置場所、所有者名(申請者名)、指定業者、工事完了区分(完了・未完了)
								2	条件を指定した検索結果を一覧で表示できること。また、CSVデータで出力可能であること。
		2	照会	1	工事受付履歴			1	水栓番号に紐づく工事受付履歴を確認できること。
17		3	申請管理	1	工事受付入力	1	共通	1	工事受付内容を新設、流末工事、改造、流末未完工事から選択できること。
18								2	新規受付入力時、既存の工事受付情報を水栓番号等を入力することで参照複写が可能であること。複写した受付情報は職員で修正が可能であること。
19								3	工事受付後、水栓に対する新設・改造工事情報のうち、必要項目を料金システムへ連携(入力)させる構成とすること。
20						2	新設入力	1	申請事業者から給水装置工事申込書を受け、新たに水栓番号を附番し、新設受付から完成までを管理できること。
21								2	水栓番号の附番については、未使用の水栓番号を自動で附番すること。自動で附番した水栓番号については職員で修正も可能であること。使用済みの水栓番号を入力した場合はエラーとして表示すること。
22									
23									

No.	業務名	No.	機能1	No.	機能2	No.	機能3	No.	機能概要
24						3	改造入力	1	申請事業者から給水装置工事申込書を受け、既存の水栓に対して改造受付から完成までを管理できること。
25								2	改造受付入力を行う際には、該当の既存水栓に紐づく情報を表示し、職員で水栓に対する改造入力を行えること。
26						4	流末未完工事入力	1	申請事業者から給水装置工事申込書を受け、新たに流末未完番号を附番し、流末未完工事受付から完成までを管理できること。 ※流末未完工事とは 宅地造成に伴い、引込のみを行う工事。「流末未完番号」という仮の水栓番号を附番し、加入金納付書発行や完了処理はできるが、流末工事が完了するまで開栓はできない状態。
27								2	流末未完番号の附番については、未使用の流末未完番号を自動で附番すること。自動で附番した流末未完番号については職員で修正も可能であること。使用済みの流末未完番号を入力した場合はエラーとして表示すること。
28						5	流末工事入力	1	申請事業者から給水装置工事申込書を受け、流末未完番号を附番した水栓に対して、新たに水栓番号を附番し、流末工事受付から完成までを管理できること。 ※流末工事とは 流末未完工事を完了した場所で工事を行うこと。
29								2	水栓番号の附番については、未使用の水栓番号を自動で附番すること。自動で附番した水栓番号については職員で修正も可能であること。使用済みの水栓番号を入力した場合はエラーとして表示すること。
30				2	受付管理	1	管理項目	1	工事受付に紐づく申請情報のうち、下記の項目が管理できること。 工事受付番号、工事受付内容、水栓番号(流末未完番号)、届出年月日、給水装置場所、屋号、所有者氏名、使用者氏名、加入口径、上水用途、下水区域、下水未徴収理由、旧市町村区分、メーター出庫有無、連合栓番号、加入金有無、指定業者名、工事受付担当地区、備考 ※連合線番号とは アパート等の集合住宅建築時の管理に使用する番号。一本の大きい口径で引込み、その後宅内で複数の小さい口径に分岐し、それぞれに水道メーター(水栓番号)が設置されるもの。分岐前の引込み部分に対して番号を附番する。

No.	業務名	No.	機能1	No.	機能2	No.	機能3	No.	機能概要
31								2	加入金が発生する場合、受付完了後に加入金納付書発行画面へ遷移できること。
32								3	工事受付番号については1から順番に自動で附番できること。自動で附番した受付番号については職員で修正も可能であること。使用済みの受付番号を入力した場合はエラーとして表示すること。 また、年度更新時に1からリセットして附番できること。
33								4	上水用途については家事用、営業用、官公庁用、湯屋用、工場用、臨時用、共同家事用、公共用、船舶用から選択できること。
34								5	下水区域については公共、公共未整備、公共区域外、農集、農集区域外、地域し尿、地域区域外、小規模、浄化槽、不明から選択できること。
35								6	下水未徴収理由については不明、解体、建替新築、更地、駐車場、一次側、共用栓、散水のみ、井戸予備、農業用、水道認定、空家、汚水源無、合併槽、汲み取り、単独槽、その他から選択できること
36				3	取消し処理	1	取消し	1	取消し処理を行った場合、使用した受付番号は再利用(別の申請に使用)できること。
37								2	「新設、流末工事」の取消し処理を行った場合、使用した水栓番号は再利用(別の申請に使用)できること。
38								3	「流末未完工事」の取消し処理を行った場合、使用した流末未完番号は再利用(別の申請に使用)できること。

No.	業務名	No.	機能1	No.	機能2	No.	機能3	No.	機能概要
39								4	納付書発行を伴う工事申請の場合、納付書の取消しが完了するまで申請の取消しはできないこととする。
				4	完了処理	1	竣工日	1	工事の竣工日を入力できること。
						2	完了日、中止日	1	事務処理としての完了日、中止日を入力できること。
				5	工事受付集計			1	年月を指定して工事区分別、担当別で件数を集計できること。
40									
41									
42									
43	加入金	1	調定	1	調定処理	1	加入金調定	1	新設、改造、流末未完工事の受付入力後、給水管の加入口径に基づき、加入金を調定できること。また、加入金調定については職員が手動でも入力できること。
						2	加入金計算	1	給水管の加入口径に応じて、加入金を算出できること。 改造(増径)の場合は、新口径に应ずる加入金の額と、旧口径に应ずる加入金の額の差額を加入金として算出できること。
				2	調定更正	1	設計変更	1	工事中の設計変更により増径、減径があった場合、加入口径を変更することで加入金調定額を再計算できること。また、加入金調定については職員が手動でも修正できること。
44									
45									
46								2	工事取りやめ
								1	工事取りやめによる加入金調定の全額減額を行えること。

No.	業務名	No.	機能1	No.	機能2	No.	機能3	No.	機能概要	
47				3	調定集計			1	調定月別、調定年別、口径別に調定件数、調定額を集計できること。	
								2	調定月別に調定更正を行った対象者の一覧表を作成できること。	
								3	調定月別に調定更正を行った調定を集計し、増減件数・増減調定額を算出できること。	
50		2	請求	1	納付書	1	当初納付書発行	1	工事受付入力後、水栓番号(流末未完番号)に紐づく加入金に対して納付書を発行できること。 調定年月日から14日後を納付期限として自動表示できること。表示した納付期限については職員で修正も可能であること。	
						2	納付書再発行	1	お客様からの依頼等を理由に加入金納付書を再発行できること。	
52		3	収納	1	消込処理	1	消込	1	日次での処理として、指定金融機関が作成する収入日ごとの加入金収入消込データを取り込み、システムへ消込を行えること。 (別紙4)システム間連携レイアウト 参照	
								2	調定金額と一致しない収入についても一部入金又は過誤納として消込み処理ができること。	
54		4	還付						1	還付処理を行った加入金調定について、還付の履歴として還付年月日が確認できること。

No.	業務名	No.	機能1	No.	機能2	No.	機能3	No.	機能概要	
55		5	照会	1	加入金照会			1	所有者に紐づく調定金額の下記の項目を確認できること。 調定年月、加入口径、加入金額	
				2	収納履歴照会			1	調定に紐づく収入のうち、下記項目を確認できること。 領収日、収入日、収納方法、領収場所、収入金額、収入の履歴	
				3	未納照会			1	所有者に紐づく未納情報のうち、下記項目を確認できること。 滞納金額合計、納期限内未納額の合計、未納額総合計、未納調定の内訳(調定年月、未納金額、当初納期)	
		6	収入集計				1	収入日別、収入月別、調定月別、調定年別、口径別に加入金収入額、件数を集計できること。		
		7	還付集計				1	還付支払日ごとに還付対象者の還付明細をCSVで出力できること。		
		8	未納集計				1	調定月別、調定年別に未納額、件数を集計できること。		
61		9	納入証明書					1	使用者が加入金を支払った場合に、支払ったことを証明する書類「加入金納入証明書」の発行ができること。	
62	4	指定店管理	1	指定給水装置工事事業者 (業者コード)	1	業者マスタ管理	1	照会	1	指定工事業業者情報のうち、下記の項目を確認できること。 業者コード、業者名、業者所在地、電話番号、FAX番号、指定年月日、指定有効期間

No.	業務名	No.	機能1	No.	機能2	No.	機能3	No.	機能概要
63					2	更新	1	業者マスタの登録・修正・廃止ができること。廃止登録を行った業者コードは、使用時にエラーとして表示すること。	
					3	検索	1	下記のそれぞれの項目で業者の検索ができること。 業者コード、業者名、指定有効期間	
							2	有効期間を指定し表示した業者一覧を出力できること。	
64			2	主任技術者情報マスタ管理	1	照会	1	主任技術者情報のうち、下記の項目を確認できること。 技術者名、免状番号	
					2	更新	1	技術者マスタの登録・修正・廃止ができること。1つの業者コードに対して複数の技術者を登録できること。	
65									
66									
67									

No.	業務名	No.	機能1	No.	機能2	No.	機能3	No.	機能概要
68	排水設備管理	1	情報管理	1	管理概要	1	下水番号管理	1	排水設備工事管理にあたり、設備工事情報を一意に特定する番号として「下水番号」を附番できること。
								2	現行運用において下水番号は、申請の都度、窓口のナンバリングマシンで新規附番しているため、新設、改造の度に新たな下水番号を附番できること。 ただし、設置場所に対しての下水番号が工事の都度変更となるため、工事申請ごとの下水番号の履歴を確認できるよう設置場所に対して一連番号といった番号を附番し申請履歴を確認している。 上記のように下水番号ごとの工事履歴が確認できる構成とすること。
								3	下水番号として下水道接続・下水道未接続の区分が分かる構成とすること。 現行においては、下水接続済(識別記号Aから始まる連番)・下水未接続(識別記号Bから始まる番号)と区別している。
						2	水栓番号管理	1	排水設備情報に対する上水の水栓番号を紐づけて管理できること。
								2	集合住宅の場合など、ひとつの排水設備情報に対して複数の水栓番号が存在する場合の水栓登録が可能なこと。
								1	排水設備情報ごとに、設置場所(町名)に基づく下水道処理区域及び下水道の事業区分、排除方式を管理している。 排水設備登録を行う度に、町名に紐づく処理区等を職員で確認して入力する負担を軽減できるよう、町名を入力することで、対応する事業区分や処理区域がプルダウン選択できる等の負担軽減機能を有すること。
74	排水設備管理	2	検索機能					1	下記それぞれの項目で工事申請情報の検索が行えること。 確認番号、水栓番号、使用者名、町名※、工事業者※ ※町名検索に加えて、番地、水栓状態、下尿区分も検索に加えられること。 ※工事業者に加えて、進捗状況(申請済、検査済など)、検査結果状態、期間を指定した申請日、検査日も検索に加えられること。
75								2	条件を指定した検索結果を一覧で表示できること。また、CSVデータで出力可能であること。

No.	業務名	No.	機能1	No.	機能2	No.	機能3	No.	機能概要
76		3	照会	1	工事受付履歴			1	排水設備情報に紐づく工事受付履歴を確認できること。
		4	申請管理	1	受付管理	1	管理項目	1	工事受付に紐づく申請情報のうち、下記の項目が管理できること。 下水番号、設置場所、排除方式、使用者名、使用者住所、使用者電話番号、申請者名、申請者住所、工事店名、工事店住所、責任技術者、付帯設備、便所種別、排水種別、施設種別、確認年月日、供用開始日、水栓番号、届出年月日、下尿区分、事業区分、処理区域、竣工予定日、公共ます新設番号、仮設トイレ区分、着工日、竣工日、完了届提出日、検査員、検査日、検査時刻、備考
77								2	付帯設備について特定施設、除害施設、阻集器、ディスプレイから選択できること。
78								3	便所種別については合併槽、単独槽、その他、汲み取り、新築、建て替え、増改築、既設接続、仮説から選択できること。
79								4	排水種別については水道のみ、井戸のみ、水道と井戸、私設メータ有、水道で井戸未入流、井戸で水道未入流、その他から選択できること
80								5	施設種別については一般住宅、集合住宅、倉庫・車庫・工場、工場、ガソリンスタンド、飲食店、コンビニ等小店舗、病院、ビル、事業場、事務所等、その他から選択できること。
81								6	仮設トイレ区分については設置予定有、設置予定無、未定不明、汲み取りから選択できること。
82						2	進捗状況	1	現在の工事申請受付状況が照会画面から分かりやすい構成とすること。以下のような進捗状態を想定し、工事受付入力を更新する度に進捗状態も更新するものとする。 申請済(新規)・申請済(増改築)、工事完了、検査予定、検査済 等
83									

No.	業務名	No.	機能1	No.	機能2	No.	機能3	No.	機能概要
84				2	確認申請入力	1	共通	1	排水設備の新設工事、改造工事入力が行えること。入力項目は下記のとおりとする。 届出年月日、下水番号、設置場所、排除方式、使用者名、使用者住所、使用者電話番号、申請者名、申請者住所、工事店名、工事店住所、責任技術者、付帯設備、便所種別、排水種別、施設種別、確認年月日、供用開始日、水栓番号、下尿区分、事業区分、処理区域、竣工予定日、公共ます新設番号、仮設トイレ区分、備考
85								2	設置場所と申請者住所が同一の場合等、既存の工事受付情報から参照複写が可能であること。複写した受付情報は職員で修正が可能であること。
86								3	給水装置工事検査と同日検査であるかの有無を判別できること。
87								4	日報として、当日受付入力を行った確認申請の一覧をcsv出力できること。
88						2	新設入力(下水番号なし)	1	申請事業者から排水設備等新設等計画確認申請書を受け、新たに下水番号を附番し、新設受付から工事完了及び検査完了までを管理できること。
89						3	新設入力(下水未接続地域)	1	申請事業者から排水設備等新設等計画確認申請書を受け、下水番号(現行運用では識別記号Bから始まる下水番号)を変更、新たに下水番号(現行運用では識別記号Aから始まる下水番号)を附番し、新設受付から工事完了及び検査完了までを管理できること。
90						4	改造入力	1	申請事業者から排水設備等新設等計画確認申請書を受け、新たに下水番号を附番し、改造受付から工事完了及び検査完了までを管理できること。 ※現に下水道を使用済みであり、増築や建て替えをする場合等に行う。
91								2	改造受付入力を行う際には、該当の既存設備に紐づく情報を表示し、職員で設備に対する改造入力を行えること。

No.	業務名	No.	機能1	No.	機能2	No.	機能3	No.	機能概要
92						5	竣工予定日管理	1	竣工予定日から任意の日数が経過したものをcsv出力できること。
93				3	工事完了処理			1	排水設備の工事着工日、竣工日、完了届提出日、備考を入力できること。
94								2	日報として、当日に工事完了入力を行った確認申請の一覧をcsv出力できること。
95				4	検査予定入力	1	予定入力	1	工事完了後の検査予定日、検査員、検査時刻、備考を入力できること。
96						2	検査済証の印刷	1	入力完了後、検査済証を印刷できること。 検査済証はいつでも再発行が可能であること。
97								2	月報として、検査済証の発行を行った確認申請の一覧をcsv出力できること。
98				5	検査予定照会	1	検索	1	下記の検索項目で検査予定を検索できること。 日付(期間指定もできること)、検査員、下水番号、設置場所、申請者名、指定工事店
99						2	照会	1	条件を指定し検索した検査予定を一覧で表示できること。表示項目は下記のとおりとする。 下水番号、設備住所、申請者名、工事店、検査員、検査日、検査予定時刻

No.	業務名	No.	機能1	No.	機能2	No.	機能3	No.	機能概要
100				6	検査結果入力			1	検査完了後に着工日、竣工日、完了届提出日、検査員、検査日、検査時刻、備考、排水種別（申請時と変更があれば）、施設種別（申請時と変更があれば）を入力できること。
101				7	廃止入力			1	申請事業者から公共下水道使用廃止届を受け、既存設備に対して廃止入力を行えること。 入力項目は下記のとおりとする。 廃止日、備考
102				8	修正入力			1	既存設備に紐づく情報に対して、修正入力を行うことができること。
103		5	下水道接続促進管理業務	1	未接続状況	1	検索	1	下記それぞれの項目で下水未接続家屋の検索が行えること。 確認番号、水栓番号、使用者名、町名 ※町名検索に加えて、番地、水栓状態、下尿区分も検索に加えられること。
104						2	照会	1	下水道未接続家屋の下記の項目を確認できること。 下水番号、設置場所、排除方式、使用者名、使用者住所、使用者電話番号、便所種別、施設種別、供用開始日、下尿区分、事業区分、処理区域、所有者名、所有者住所、未接続理由、推進員名、調査日、備考
105						3	入力	1	下水未接続家屋における下記の項目の入力を行えること。 下水番号、設置場所、排除方式、使用者名、使用者住所、使用者電話番号、便所種別、施設種別、所有者名、所有者住所、未接続理由、推進員名、調査日、備考
106								2	入力を行った履歴を残し、下水未接続家屋における過去の活動を参照できること。
107						4	未接続一覧	1	下水未接続から下水接続に変更になったものを期間を指定して抽出できること。

No.	業務名	No.	機能1	No.	機能2	No.	機能3	No.	機能概要
108	6 供用開始	1	供用開始入力					1	新たに公共下水道が整備され、供用開始となった区域の共用開始日を登録できること。
								2	新たに下水番号(未接続)を附番し、下記の項目を入力できること。 下水番号(未接続)、設置場所、排除方式、使用者名、使用者住所、使用者電話番号、供用開始日、水栓番号、下尿区分、備考
110	7 下水道排水設備指定工事店管理	1	配水設備指定工事店業者 (工事店コード)	1	工事店マスタ管理		1	照会	1 配水設備指定工事業者情報のうち、下記の項目を確認できること。 工事店コード、業者名、工事店所在地、電話番号、FAX番号、代表者名、指定状況(指定・休止・廃止・取消)、指定年月日、指定有効期間、指定期間、地域、給水工事指定番号、備考
							2	更新	1 工事店マスタの新規登録・修正ができること。
									2 指定年月日を入力した場合、指定有効期間(5年を超えない最長の9月末日)が自動で入力されること。 また自動入力された有効期間については、職員で修正が可能であること。
									3 新規登録・修正を行った場合に、指定工事店証を発行できること。
							3	検索	1 下記のそれぞれの項目で業者の検索ができること。 工事店コード、業者名、指定状況、有効期間
115							4	指定工事店一覧	1 指定工事店の一覧をcsv出力できること。

No.	業務名	No.	機能1	No.	機能2	No.	機能3	No.	機能概要
116				2	責任技術者情報マスタ管理	1	照会	1	排水設備指定工事店ごとに責任技術者情報を紐つけて管理ができること。指定工事店照会画面から工事店に紐づく責任技術者を一覧表示できること。
117								2	排水設備指定工事店に紐づく責任技術者情報の下記の項目を確認できること。 登録番号、責任技術者名、選任状況(選任・退職・解除)、電話番号、FAX番号、有効期限、備考
118								3	有効期限切れの責任技術者は、視覚的判断が可能な機能を有すること。
119								4	従事する指定工事店が変更になった場合、従前の指定工事店に紐づく責任者情報の履歴としても選任状況「退職」及び「解除」として確認できること。
120						2	更新	1	技術者マスタの登録・修正ができること。1つの工事店に対して複数の技術者を登録できること。
121								2	技術者が他の指定工事店で従事中である場合、二重登録とならないよう更新時にエラーとして表示すること。
122								3	富山県下水道協会が年1回提供する下水道排水設備工事責任技術者全名簿(excel)を取り込み、前年度と変更があった差分については一括更新できること。 更新項目は下記のとおりとする。 登録番号、責任技術者名、フリガナ、有効期限
123						3	検索	1	下記のそれぞれの項目で技術者の検索ができること。 工事店コード、登録番号、責任技術者名、指定状況

124

No.	業務名	No.	機能1	No.	機能2	No.	機能3	No.	機能概要
								2	検索した技術者を一覧で出力できること。

No.	業務名	No.	帳票名	項目	対応機能
1	給水装置工事申請受付業務	1	給水装置工事受付入力 (料金システム入力用の想定)	工事区分、お客様番号、届出年月日、装置場所、屋号、所有者氏名(申請者)、所有者住所(申請者)、使用者指名、使用者住所、加入口径、上水用途、連合線番号、担当者、備考 【空欄として出力】 ・メーター出庫日 ・取付量水器(口径、メーター番号、検満年月、取付・取外日、指示数) ・メーター取外し日 ・取外量水器(口径、メーター番号、検満年月、取付・取外日、指示数)	2-3-1-1
2	加入金	1	当初納付書 再発行納付書	[基本情報]発行日、水栓番号(流末未完番号)、所有者氏名(申請者)、所有者住所(申請者) [料金]加入口径、加入金額、調定年月日、納付期限、OCR印字	3-2-1-1 3-2-1-2
		2	調定更正一覧表	●調定日毎に調定を更正した対象者の一覧表。以下の項目を表示する。 [基本情報]水栓番号(流末未完番号)、所有者名、調定年月、当初調定日 [更正前]更正前加入金額 [更正後]更正後加入金額 [増減]増減加入金額 [更正前合計]加入金額 [更正後合計]加入金額 [増減合計]加入金額	3-1-3
		3	加入金納入証明書	[装置場所]装置場所、装置場所方書 [基本情報]所有者名、お客様番号、加入口径、調定年月、上下水道事業管理者名 [納入内訳]納入済加入金額	3-9
3	排水設備管理	1	検査済証	下水番号、設置場所、使用者名、申請者名、申請者住所、指定工事店名、確認年月日、検査員、富山市上下水道事業管理者名、電子公印	5-4-4-2
4	下水道排水設備指定工事店管理	1	指定工事店証	指定工事店名、工事店所在地、代表者名、指定期間、富山市上下水道事業管理者名	7-1-1-2

No.	業務名	No.	検索条件	項目	対応機能
1	給水装置工事申請受付業務	1	給水装置工事申請一覧	工事区分、水栓番号(流末未完番号)、届出年月日、装置場所、所有者名、所有者住所、使用者名、使用者住所、加入口径、連合線番号、担当者、指定業者、受付番号、工事完了区分	2-1
		2	給水装置工事申請件数一覧	●受付年月毎に担当、工事区分別で集計する 【受付年月】毎 →(担当、工事区分)別 →届出合計件数	2-3-5
2	加入金	1	月計表(調定部分)	●毎月統計資料 ・各年月毎に調定を作成したものを集計。 【調定年月、調定年度】毎 ①当初調定件数・金額、②異動増減件数・金額、③小計(①+②)、④当月過誤納発生件数・金額、⑤当月還付処理件数・金額、⑥当月入金件数、金額、⑦当月未収件数・金額、⑧当月収納件数・金額	3-1-3 3-8
		2	月計表(収入部分)	●毎月統計資料 ・各年月毎に収入があったものを集計、収入日毎に集計 【収入年月】毎 →(収入日)別 →収入金額・収入件数	3-6
		3	調定簿	●毎月統計資料 ・現年度、過年度毎に調定を作成したものを集計、加入口径毎に集計 →【現年度・過年度】毎 →(加入口径)別 →①当初調定件数・金額、②異動増減件数・金額、③小計(①+②)、④前月調定累計件数・金額、⑤当月調定累計件数・金額(③+④)	3-1-3
		4	収入簿	●毎月統計資料 ・現年度、過年度毎に収入があったものを集計、加入口径毎に集計 →【現年度・過年度】毎 →(加入口径)別 →①当月収入件数・金額、②前月收入累計件数・金額、③小計(①+②)、④当月調定累計件数・金額、⑤当月未収件数・金額(④-③)	3-6
		5	還付集計表(還付支払日別)	●内部統計資料 ・還付金支払日毎に還付件数・還付額を集計。 →(還付支払日)別 →加入金還付件数、還付金額	3-7
		6	還付支払一覧表(還付支払日別)	●還付支払日毎に還付明細を一覧で表示。以下の項目を表示する。 お客様番号、所有者、調定年月、過誤納金額、還付額	3-7
3	指定店工事管理	1	指定給水装置工事事業者一覧	指定番号、業者名称、住所、指定年月日、指定の有効期間	4-1-1-3

No.	業務名	No.	検索条件	項目	対応機能
4	排水設備管理	1	工事調書提出状況	●毎月統計資料 指定工事店毎の確認申請書提出数と検査実施数(地区別で集計したもの) 上記集計の、当該年度における上記の累計数、検査を実施した指定工事店数の一覧表も作成する	5-2
		2	町内別接続状況	●任意の指定日における、接続可能数(下水接続済・下水未接続の合計)と検査済数を、町名、事業区分、排除方式別に集計したものと接続率(検査済数÷接続可能数)を集計する 併せて上記の合計を校区ごとに集計する	5-2
		3	町内施設別接続状況	●任意の指定日における、接続可能数(下水接続済・下水未接続の合計)と検査済数を、町名、事業区分、排除方式、施設(一般住宅等)別に集計したものと接続率(検査済数÷接続可能数)を集計する 併せて上記の合計を校区ごとに集計する	5-2
		4	供用開始日別接続状況	●任意の指定日における、接続可能数(下水接続済・下水未接続の合計)と検査済数を、地区、事業区分、供用開始日、排除方式別に集計したものと、接続率(検査済数÷接続可能数)を集計する	5-2
		5	竣工予定日管理	●竣工予定日を任意の日数経過したものを抽出する 下水番号、設置場所、申請者名、工事店名、竣工予定日	5-4-2-5
		6	確認申請書入力一覧	●当日に受付入力を行った確認申請を抽出する 発行日、下水番号、設置場所、使用者名、指定工事店名、確認年月日、竣工予定日、合計件数	5-4-2-1
		7	工事完了入力一覧	●当日に工事完了入力を行った確認申請を抽出する 発行日、下水番号、設置場所、使用者名、指定工事店名、確認年月日、竣工予定日、着工日、竣工日、完了届提出日、合計件数	5-4-3
		8	公印管理月報	●指定月における検査済証の発行を行った確認申請を抽出する 発行日、検査日、下水番号、設置場所、申請者名、申請者住所、検査員、合計件数	5-4-4-2
		9	未接続一覧(期間中接続申請一覧)	●指定した期間内で、「未接続」から「接続」に状態が変移したものを抽出する 下水番号、設置場所、使用者名、水栓番号、調査日	5-5-1-4

No.	業務名	No.	検索条件	項目	対応機能
5	供用開始受入	1	なし	なし	
6	指定工事店管理	1	指定工事店一覧	●旧市町村区分(地区)、地域ごとの指定工事店の一覧を表示するもの。 発行日、指定工事店名、工事店所在地、工事店電話番号、有効期限、給水工事指定番号、旧市町村区分、地域(市外業者は市域ごと)、合計件数	7-1-1-4